

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和3年6月4日

和歌山県知事 殿

提出者

住 所 大阪市西区西本町1丁目13番47号

氏 名 戸田建設株式会社大阪支店

常務執行役員支店長 三宅 正人

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6531-9018
（建築環境品質管理部）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	戸田建設株式会社大阪支店
事業場の所在地	和歌山県内管轄事業場
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06 総合建設業
②事業の規模	元請完成工事高 533.2 億円 （2021年3月31日現在 大阪支店）
③従業員数	420人（2021年4月1日現在 大阪支店在籍者）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ①梱包材の削減 ②工場加工の推奨 ③養生の削減 ④ALCプレカット		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ①リターナルブル缶・容器の採用 ②簡易梱包、ALCなどのプレカットの展開		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・木くず ・金 属くず ・廃プラスチック ・紙くず ・混合廃棄物
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・今年度は上記分別の充実をはかる計画

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 過去に当社と委託契約を締結し、適正に処理を行った産廃許可業者のデータから処理業者の選定に配慮している。定期的に現地確認を行っている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>電子マニフェスト対応可能な処理業者を尊重するとともに、今後優良認定業者からの選定を検討していく。締結した処理業者については定期的に現地確認を行う。</p>			
※事務処理欄			

別添 1 処理工程図

①産業廃棄物許可業者との処理委託契約の締結

- ・委託先の許可内容の確認
事業の範囲、許可者、許可の有効期限、
取り扱う産業廃棄物の種類、運搬車輛、
処理施設の種類、能力等、処理施設等の現地確認

②コンテナ設置

(分別ヤード設定)

③作業所からの産業廃棄物の発生

④委託契約した産業廃棄物許可業者（運搬・処分）への委託処理

- 電子マニフェスト利用業者の選定
(紙マニフェストの場合は交付、追跡調査、マニフェスト管理台帳記載、処理状況の確認)

別添 2 管理体制図

(管理体制図)

- 支店担当者(建築:建築環境品質管理部、土木:土木工事部環境管理課)
 - ・作業所への助言
 - ・処理計画書の審査
 - ・月次報告のチェック、必要に応じて随時の打合せ

- 作業所長
 - ・処理計画の作成
 - ・処理業者の選定
 - ・委託内容の確認
 - ・処理委託契約書の締結

- 作業所産廃担当者
 - ・処理施設の現地確認、
 - ・分別ヤードの整備、作業員への周知・指導
 - ・マニフェスト交付
 - ・処理状況の確認
 - ・実績報告のための集計、報告

産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

現状:前年度(令和2年度)実績量
計画:今年度(令和3年度)計画量(目標)

単位:トン

産業廃棄物の種類	排出抑制		自ら再生利用を行った(行う)量		自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量		処理の委託									
	排出量				自ら熱回収を行った(行う)量		自ら中間処理により減量した(する)量				全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
汚泥	187.7	168.9	-	-	-	-	-	-	-	-	187.7	168.9	24.5	22.1	187.7	168.9	0.0	0.0	0.0	0.0
廃プラスチック類	1.4	1.3	-	-	-	-	-	-	-	-	1.4	1.3	0.6	0.5	1.4	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
木くず	93.6	84.2	-	-	-	-	-	-	-	-	93.6	84.2	0.0	0.0	93.6	84.2	0.0	0.0	0.0	0.0
コンクリート片	2,811.7	2,530.5	-	-	-	-	-	-	-	-	2,811.7	2,530.5	0.0	0.0	2,811.7	2,530.5	0.0	0.0	0.0	0.0
アス・コン片	1,958.0	1,762.2	-	-	-	-	-	-	-	-	1,958.0	1,762.2	48.0	43.2	1,958.0	1,762.2	0.0	0.0	0.0	0.0
その他がれき類	1,848.2	1,663.4	-	-	-	-	-	-	-	-	1,848.2	1,663.4	1,824.0	1,641.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設混合廃棄物(管理型)	230.1	207.1	-	-	-	-	-	-	-	-	230.1	207.1	127.7	114.9	54.9	49.4	0.0	0.0	0.0	0.0
水銀使用製品	0.6	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	0.6	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0
合計	7,131.3	6,418.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7,131.3	6,418.1	2,025.1	1,822.6	5,107.6	4,596.8	0.3	0.3	0.0	0.0